

いしかわ事業者版環境ISO

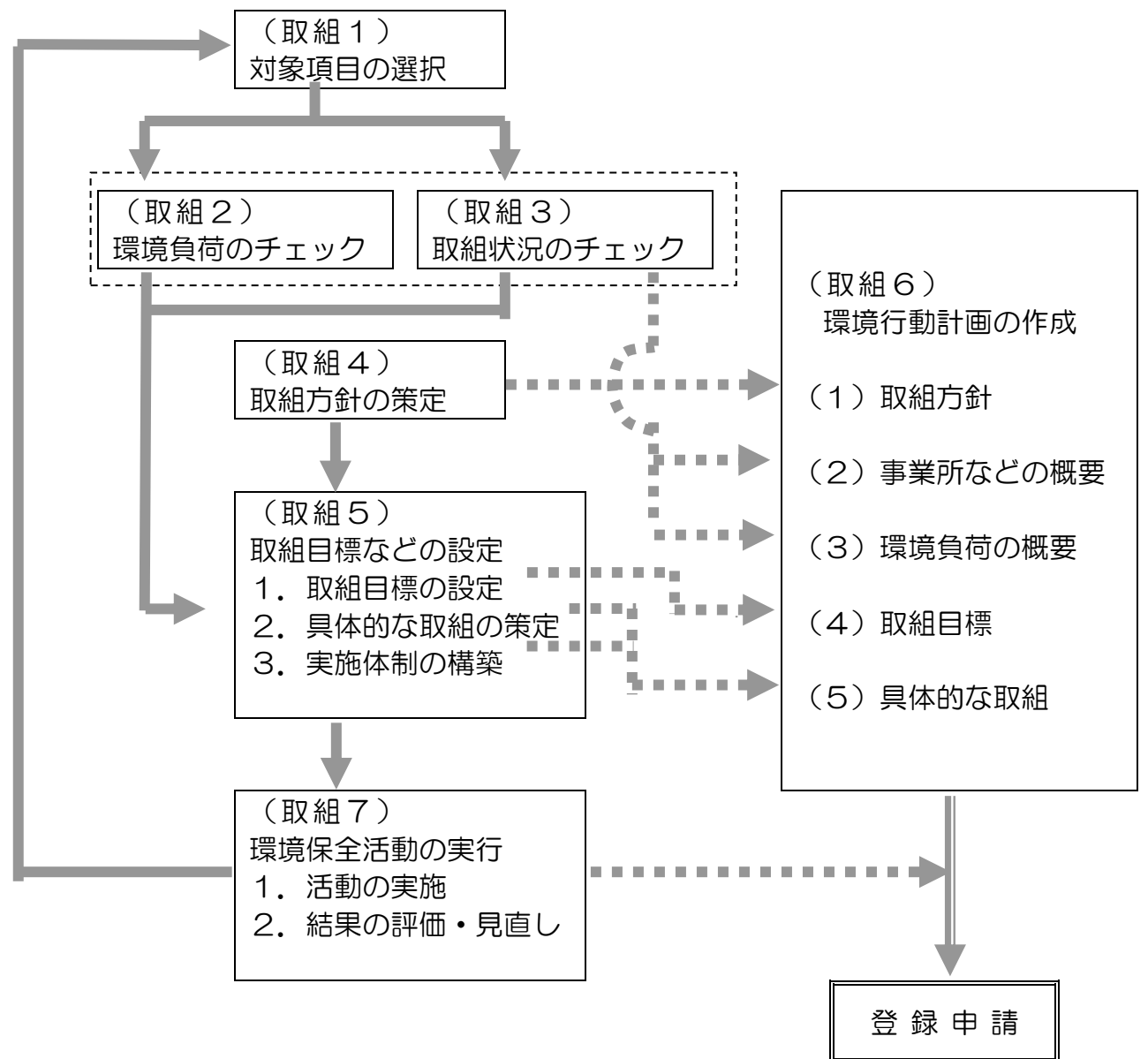
取組手順と登録

いしかわ事業者版環境ISOに従って環境保全活動に取り組む手順と登録申込の概要は、右のフロー図のようになっています。

まず、環境保全活動に取り組む仕組みづくりのために、ガイドラインの説明に従って（取組1）から（取組5）の準備作業を行います。次に、準備作業の結果を整理して（取組6）の環境行動計画にまとめ上げ、作成した環境行動計画を添付して登録を受けるための審査を申請します。

環境行動計画の具体的な構成と内容は、裏面の具体例をご覧ください。

【いしかわ事業者版環境ISOの取組手順】



（取組1）対象項目の選択

- ①～⑥から3項目以上を選択します。
- ①エネルギー消費、②廃棄物の排出
③水・紙の使用、④物品等の購入
⑤普及活動、情報発信、⑥教育研修
注：事業者は①～③
活動団体は⑤、⑥が必須です

（取組2）環境負荷のチェック

事業所や事業活動の中で発生する環境への負荷を自己チェックします。

（取組3）取組状況のチェック

- 現状の環境保全への取組状況を自己チェックします。
- 例・空調温度の調節（冷房28℃、暖房20℃程度）
- ・昼休みの一斉消灯、人のいない区域の消灯徹底
 - ・OA機器の節電機能の活用
 - ・高効率蛍光灯などの導入による省エネ化
 - ・低燃費・低公害車の導入

（取組4）取組方針の策定

基本的な考え方と方向性を取組方針として宣言します。
（裏面「例（取組方針）」を参照）

（取組5）取組目標などの設定

- 取組目標を設定し、具体的な取組内容と実施体制を決めます（裏面「例（環境負荷の低減目標）」を参照）。
- 例・二酸化炭素排出量を〇年度には△%削減する
- ・一般廃棄物の排出量を対前年度比▲%削減する
 - ・PC-用紙の使用量を売上高あたり▽%削減する

（取組6）環境行動計画の作成

（取組1）から（取組5）の結果を整理して、環境行動計画を作成します。登録された環境行動計画は、インターネットホームページで公開されます。
（裏面「例」を参照）

（取組7）環境保全活動の実行

環境行動計画に1年間取り組み、代表者が結果の評価・見直しを行います。2年後の登録更新時に専門家のアドバイスを受けます。

〈 問合せ先 〉



石川県環境部温暖化・里山対策室
〒920-8580 金沢市鞍月1-1
TEL 076-225-1462 FAX 076-225-1479
http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankyo/pp/iso_jigyosha/index.html

〈 申請先 〉

公益社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議
〒920-8203 金沢市鞍月2-1 いしかわエコハウス内
TEL 076-266-0881 FAX 076-266-0882
<http://www.eco-partner.net/>

○ 環境行動計画の例

○○工業（株）環境行動計画

平成○年○月○日

取組方針

○○工業株式会社は、『日頃の小さな工夫の積み重ねが、大きな技術の改善につながる』ことをモットーに、顧客ニーズにあった○○や○○などの工作・加工機械を製造しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 危険物・化学物質の安全な取扱
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成○○年○○月○○日

○○工業株式会社

代表取締役社長 ○○ ○○

1 会社の概要

(1) 事業者名及び代表者 ○○工業株式会社
代表者 ○○ ○○

(2) 所在地 ○○市○○町○○
丁目○○番○○号

(3) 事業の概要 業 種 機
械・装置等製造業
事業内容 ○○

機械の組立・製造
資本金 ○○万円
主要製品 ○○、○○、○○
売上高 ○○万円
従業員数 ○○人

(4) 環境保全関係の担当者、連絡先 担当者 ○○ ○○ (○○部○○課)
連絡先 電話：
FAX：
E-mail：

2 環境負荷の概要

当社の事業活動に伴う過去3年間にわたる二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び資源（コピー用紙、水）利用量を調査したところ、次の結果でした。

環境負荷	負 荷 量		
	○○年	○○年	○○年
二酸化炭素の総排出量 (kg-CO ₂)	○○	○○	○○
電 力 (kg-CO ₂)	○○	○○	○○
灯 油 (kg-CO ₂)	○○	○○	○○
ガソリン (kg-CO ₂)	○○	○○	○○
軽 油 (kg-CO ₂)	○○	○○	○○
産業廃棄物の排出量 (トン)	○○	○○	○○
コピー用紙の使用量 (kg)	○○	○○	○○
水使用量 (m ³)	○○	○○	○○

なお、一般廃棄物の排出量については、今後、データを把握することとしています。

3 環境負荷の低減目標

○○年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも○○年です。）

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を○%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量を○%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を○%削減する



【目標4】 水使用量を○%削減する



【目標5】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

（製造部門での活動）

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ 加熱炉の温度を適正温度に設定する
- ・ ボイラーの低空気比運転を徹底する
- ・ 冷却ファンと換気扇モーターのインバーター制御を検討する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

（事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休みと人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 生ごみをコンポストで堆肥化し敷地内の植栽に使用する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 危険物・洗浄剤の安全管理

- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする
- ・ 保管庫からの危険物・洗浄剤の持ち出し量を記録する
- ・ 危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

【取組6】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。